

新年度のスタート

20 日の間、子どもの気配を感じることができなかつた校舎に、いつもの元気な声が戻ってきました。「やっぱり学校はこうでなくっちゃ」と思います。2名の転入生を迎え **238 名で新年度のスタート**です。



まずは始業式。はじめに新任職員を紹介しました。子どもたちの目が輝いています。「**ぼくたちの先生はあの人かなあ?**」と気にしていたんでしょね。

そして次はいよいよ学級担任・学校職員の紹介です。**自分のクラスの先生が分かる緊張の場面**。でも、それぞれの先生の元気な姿・ユニークな姿に安心したのか、体育館には笑い声や笑顔があふれていました。

その後は校長の話。「去年もみんなでいいクラスにしようがんばってきました。絵に例えると、学年がかわったので画用紙が真っ白にもどったような感じです。そしてみんなは**一人一人が違った色のクレヨン**です。どの色もきれいですが、**いろんな色を重ねていくとさらにきれいになります**。新しい画用紙に、みんなで素敵な作品を描くように、**みんなで素敵なクラスをつくっていきましょう**。」とお話しました。

一旦教室へ戻り、準備を整えて入学式に参加します。ここでも新しい仲間との出会いにみんなの目が輝きましたが、特に2年生はお兄さん・お姉さんになった実感がわいてきたのか、ちょっぴり成長した姿を見せてくれました。

新入生は体育館の中では緊張した様子がありましたが、教室では担任の先生との言葉のやり取りも多く、みんなでこやかにじゃんけんを楽しむ様子もありました。**落ち着いて半日を過ごすことができました**ので、明日からも新しい環境で元気に過ごしていくことができそうです。

全体として、よいスタートが切れたように思います。明日からは本格的なクラスごとの生活が始まります。**笑顔あふれる学校生活になるように、教職員一同努力してまいります**ので、どうぞよろしく願いいたします。なお、校長通信「こころの窓」は今年度も不定期にアップいたします。ご愛読いただければ幸いです。 校長 酒井和彦

